

令和3年度 図書館ビジョン事業実施計画評価票

区分	評価指標	実績			前年度 比	目標値			自己 評点	内容説明および 自己評価	図書館協議会委員 からのご意見	外部評価
		R元	R2	R3		R3	R4	R5				
図書館 運営	基本的サービス											
	資料購入費・決算数値(千円)	11,135	13,865	11,263	▲ 2,602	—	—	—	B 数値ばかりでなく、図書館・図書室の蔵書の内容面についても、適切な除架・除籍を行い、利用しなくなる書架を維持できるよう努めた。	<p>評点について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 妥当な評価だと思う。 <p>内容説明および自己評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規登録者数が増加傾向にあるのは努力の成果である。除籍冊数も掲げてほしい。 ・ コロナ禍の中で貸出冊数を令和元年程度に回復できたのは、健闘していると思われる。 ・ 登録者数が、対前年比で△2,293人と大幅な減となっている要因をどの様に捉えているのか。 ・ コロナ禍の中でも足を運びやすい工夫をお願いしたい。 ・ 展示の工夫等、図書館の努力の様子が見え好感が持てた。 ・ 登録者については、目標が高すぎ(若者の人口減)。次回は無理のない数値にすべき。 	<p>評点について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 妥当な評価だと思う。 <p>内容説明および自己評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標蔵書冊数を36万冊としているようだが、除籍する本の経過年数や貸出頻度といった基準は設けているのか。また、除籍された本の処理方法等で課題があるようなら、予算面での支援も含めて対策が必要だと思う。 ・ 図書館協議会委員の意見にもあるように、人口数の減少の中、登録者数の目標値は検討する必要がある。 ・ 令和5年度まで蔵書数は維持できると思うが、古い本などをどんどん処理していかないと図書の管理が難しくなる。除籍作業にアルバイトを活用するなど、処理等について予算要望などが必要ではないか。 ・ WITHコロナの中で、閲覧席や学習席の席数などを鑑みて、理想的な来館者数の目標値について検討が必要だと思う。 ・ 学習室についても、新型コロナウイルスに対応した利用方法を工夫してほしい。 	
	蔵書冊数	352,736	361,469	362,982	1,513	360,000	360,000	360,000				
	個人の貸出冊数	252,757	217,103	251,887	34,784	250,000	270,000	300,000				
	登録者数	17,012	17,709	15,416	▲ 2,293	18,000	19,000	20,000				
	(うち新規登録者数)	859	701	840	139	900	900	1,200				
来館者数	163,702	101,925	120,964	19,039	150,000	150,000	155,000					
1 佐渡に暮らす子どもたちの豊かな心を育む図書館												
12歳以下子ども一人当たりの児童書数	22	25	25	0	24	25	23	B R2年度コロナに関する交付金により購入した児童書を、R3度から「定期便」として小学校向けに団体貸出を行った。10校、999冊貸出。学校図書館との懇談会等はコロナ禍により実施できなかったためB。	<p>評点について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 妥当(懇談会が開かれなかったのは残念) ・ 学校そのものが休校、学年・学級閉鎖等で懇談会や研修会は無理なのでAにしても良いのではないか。 <p>内容説明および自己評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校図書館の司書の方との懇談会は今後必要であると考えているので、コロナ禍に関係なく行うべきである。 ・ 「定期便」の団体貸出は非常に有効だと思うが、学校側の要望や感想も評価に示してほしい。 ・ コロナ対策として、学校でもオンライン環境が整備されていると理解しており、オンラインで実施できなかったのか。 ・ 佐渡市のビジョンに関わった現場の意見を伝えられる機会を設けていただきたい。 ・ 子どもの読書環境の充実への努力は評価したい。子どもの学びや今後の利用者増のためにも、子どもと本や図書館を繋ぐことは大切なこと。学校との連携に力を入れていただきたい。 	<p>評点について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 妥当な評価だと思う。 <p>内容説明および自己評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校への貸出冊数が増えている点は大いに評価できる。定期便等の取組の成果だと思う。今後もきめ細かな対応ができる図書館であってほしい。 ・ 子どもたちからの意見や感想をフィードバックできる、子ども図書館だより等の広報活動にも力を入れてもらいたい。その意味からも学校図書館職員との連携は重要になってくると思う。 ・ 学校図書館との懇談会の実施方法について、学校側から図書館に期待するものがあれば、それについて意見をもらい、ペーパー等で回答するという形でも良いと思う。 		
小・中・高等学校への団体貸出冊数	7,796	10,211	12,252	2,041	11,000	11,000	10,000					
学校図書館との懇談会、合同研修会 回数	2	0	0	0	1	1	3					
2 誰もが利用しやすい図書館												
高齢者向けイベント 実施回数	0	0	0	0	1	1	4	B 高齢者向けイベントもコロナ禍により実施できなかった。移動図書館は感染流行期には、車内での図書選びをやめ団体貸出に切り替えるなど、感染対策を行いながら実施した。	<p>評点について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「誰もが利用しやすい」という目標は、利用者に合わせた検討が必要ではないか。 ・ 自己評価は概ね妥当と思われる。 <p>内容説明および自己評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者向けのイベントは難しいと思うが、高齢福祉課との連携等で行うことも必要であると思う。図書館ごとに展示を充実するなど、図書館へまず足を運ぶ方法を考えて頂きたい。 ・ 意見の収集には、いろいろな方法を活用するのが良いと思う。 ・ コロナ感染の状況により、図書館側の感染予防体制など図書館見学が可能かどうか目安になる情報があると良いと感じた。 ・ コロナ禍により、特にハイリスクと言われる高齢者を対象としたイベントを実施できなかったことはやむを得ない。利用者の安全を考え、移動図書館の運用方法も臨機応変に対応されており、図書館の配慮に感謝したい。 	<p>評点について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 妥当な評価だと思う。 <p>内容説明および自己評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用しやすい図書館という視点から、各図書館のバリアフリー化などで検討が必要な面はないのか。 ・ 移動図書館の活用が、コロナ禍で制限を受けた面はあるが、評価できる数値である。 ・ 移動図書館の来訪地の施設を遠隔地ステーションとして、予約の受付や返却等の業務を支援できないか検討して欲しい。 ・ 移動図書館について、予約資料の受取ができることは良いことなので、図書館に行けない人に少しでも利用してもらえるよう努力してほしい。 		
利用者の意見を把握する機会の設定(意見箱設置)	1	1	1	0	2	10	10					
移動図書館車での貸出冊数	4,316	3,774	3,775	1	4,000	4,500	5,000					

施策・事業	3 佐渡の歴史と文化の学びを支える図書館										
	郷土資料の蔵書冊数	35,110	36,101	37,049	948	36,500	37,500	36,000	A 新しく出版された郷土資料の収集に努めた。利用全体の回復基調に伴い、郷土資料の貸出冊数も増加している。郷土資料を活用した展示を行った。	<p><u>評点について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 企画展に結びつけた図書コーナーの設置は、大変評価する。 自己評価は概ね妥当と思われる。 <p><u>内容説明および自己評価について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 郷土資料を生かした展示を開催できたことがよかった。 郷土資料の検索を簡単に出来るシステムがあれば、より広範囲に利活用しやすくなると思う。 佐渡の歴史等に詳しい方々の意見も取り入れるといいと思う。 蔵書冊数、貸出冊数とも順調に伸びており、佐渡市図書館としての重要な役割を果たしていることを評価し、努力に感謝したい。これからも充実した資料の収集と活用がなされることを期待する。 	<p><u>評点について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 妥当な評価だと思う。 <p><u>内容説明および自己評価について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は郷土資料の貸し出し冊数が大きく伸びているが、何か効果的な取組があったのか。 目標蔵書数や貸出冊数は、現状分析と今後の予想を十分に検討してもらいたい。 佐渡博物館の特別展示に合わせた展示を、所蔵している資料を活用して行っても良いと思う。 全てを中央図書館で行うのではなく、展示の際に内容に合わせて実施館を選んでどうか。その展示のPRを中央図書館で行えば、他館の展示も意識してもらうことができる。
	郷土資料の貸出冊数	3,730	3,508	5,494	1,986	3,800	3,800	3,500			
郷土資料を活用した事業の実施回数	0	0	1	1	1	1	2				
4 市民と共に歩み、愛される図書館											
予約冊数	58,547	66,479	74,512	8,033	68,000	68,000	60,000	A インターネットによる予約サービスについて利用ガイドを作成し、利便性の向上を図った。新着リストによる情報提供もあいまって、個人の予約件数が増加している。また小学校向けの授業に役立つブックリストの作成を行った。	<p><u>評点について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ネット利用で利便性が向上し、実績に結びついた点を高く評価する。 小学校向け授業で役立つ図書リストはありがたかった。 <p><u>内容説明および自己評価について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 新着案内、リストの発行により、予約冊数が大幅に増えたことは評価する。 ネットでの予約サービスのガイド作成等、市民にとっては更に親しみやすく利用しやすい図書館になったと思う。 積極的に利便性の向上を図ったことにより、利用が増えたことはとてもよい。今後も、タイムリーな情報提供をお願いしたい。 サービスの向上と情報提供の工夫の成果が数字として表れており、引き続き努力されたい。 小学校向けブックリストの作成等、学習環境向上のサポートもできており素晴らしい。今後、中学校向けのリスト作成も検討していただきたい。 	<p><u>評点について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 妥当な評価だと思う。 <p><u>内容説明および自己評価について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 予約冊数の増加やリストの発行など、成果が見える取組であった。特にリストの発行など時間のかかる取組だと思うが職員に感謝する。 図書のタイトルを並べるだけでなく、本の内容が利用者に分かりやすくPRできる方法を工夫してほしい。 	
新着案内・テーマごとのリスト 発行回数	24	24	42	18	30	30	30				
5 市民の課題解決を支援する図書館											
WiFiおよび利用者用パソコンの設置 (WiFi設置数)	6館	6館	6館	0	6館	6館	10館	B 令和3年度、新潟県立図書館の「新潟県内小規模図書館等支援事業」を活用し、両津図書館で200冊、さわた図書館で300冊を借り受け、利用者に提供した。また中央図書館のAVコーナーにインターネットに接続したパソコンを設置、供用開始。レファレンスの事例紹介の発行ができなかったためB。	<p><u>評点について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 支援事業の活用は、今後も範囲を広げて続けてほしい。 レファレンスの事例紹介ができなかったのは残念である。 自己評価は概ね妥当と思われる。 Aでも良いのではないか。 <p><u>内容説明および自己評価について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 団体貸出のネット予約ができるとありがたい。 県立図書館の事業を活用することで相互貸借の冊数も増え、利用者にとってよい環境づくりができていると思う。 ネット環境はなくてはならないものになっているので、公共の場として順調に整備されることを望む。 レファレンス事例紹介は膨大で難しそうだが、まずはよくある事例を掲示やインターネット上で掲載してみてもどうか。 	<p><u>評点について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 妥当な評価だと思う。 <p><u>内容説明および自己評価について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 目標としている令和5年度中のWiFiの設置を、佐渡市に強くお願いしたい。 レファレンスの事例紹介は、利用者の参考になる点や紹介したい事例がある時だけ紹介するだけでよいと思う。発行回数等に捉われる必要はないと思う。 「いつでもご相談ください」などの案内をすれば、事例紹介までは必要ないのではないか。 よくあるレファレンス事例を紙にまとめたり、ホームページの「よくある質問」コーナーに掲載したりしておけば、利用者が参照することができるのではないか。 	
相互貸借冊数	1,761	1,352	1,879	527	1,800	1,900	2,000				
レファレンスの事例紹介 発行回数	0	0	0	0	2	2	3				
外部委員による総評	<ul style="list-style-type: none"> この評価が次年度の予算に活かされるよう、評価時期の調整などをしてもらいたい。 評価を参照して、将来像に向けて目標値・目標項目を設定してほしい。 職員間で軋轢が生まれないう、人員の配置など心配りを願います。 これからの図書館がどうなっていくべきなのか、図書館協議会や教育委員会、市議会などで議論して欲しい。 										

※「自己評点」について… A:目標値を上回って達成 B:目標どおり達成 C:目標値を下回った